

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

【取組内容】 ICT環境を基盤とする、自立した学習者の育成に向けた授業改善

各教科で単元内自由進度学習や探究をベースに、生徒が自己調節しながら学べるように授業改善を行った。単元を通して、見通しを持ったり、学習計画を修正できるようにICT環境を工夫した。その過程で授業の複線化が見られた。アンケートの結果、生徒の学習に向かう内発的な動機に関して変化があった。

項目（5件法のアンケート調査）	1学期	2学期
「知りたい」「分かりたい」「できるようになりたい」と思っていることがある。	3.93	4.56



自分が選んだ徒然草の段から兼行法師の人間像を探究する（国語）



教科書から情報を整理し、「近代化とは何か」を探究する（社会）



計算技能の習得に向けて、個別、協働して取り組む（数学）



生物の体のつくりについて細胞の観察を行い探究する（理科）



本文の読解に向けて、自分に合ったスタイルで取り組む（英語）



自分たちがたてた計画に沿って柔道を探究する（体育）